

兵庫県議会議員
石井ひでたけ県政報告
vol. 30 2008年5月号
まっすぐに ひたむきに
県政へ 全力投球



発行元: 石井ひでたけ事務所

For The Future

いつもお世話になり ありがとう
ございます。

石井ひでたけ

です!

みるみる 通信



石井ひでたけホームページ
<http://www.ishiihidetake.net>

兵庫県議会民主党・県民連合議員団 副幹事長に就任



~もっと身近に県政を~

日ごとに汗ばむ季節を迎えましたが、ご健勝にてお過ごしでしょうか？
私も、県議会に送っていただき、はや5年が経過しようとしております。県議会にあつては産業労働常任委員会に所属し、改選後の昨年6月の議会において委員長を拝命し、一年間、なんとか無事その重責を全うしようと日々、精力的に活動いたしております。また、今年4月からは県議会の会派(兵庫県議会民主党・県民連合議員団22名所属)の副幹事長に就任し、県当局はじめ、会派内、また、他会派等との窓口、調整役として充実した日を送っております。

県では、厳しい財政状況を踏まえ、昨年度、第一次新行革プランを策定されました。それに続き今年度は、「県民局をはじめとする地方機関の再編」、「試験研究機関の体制等の見直し」、「県立大学の今後のあり方」、「企業庁、県立病院の抜本的な経営委改革」、「公社等外郭団体における経営改善」など、残された課題について、さらに検討を進め、6月頃には主に

第二次案が取りまとめられ、9月には新行革プラン全体が決定されると聞いております。このたびの財政再建計画は、震災復興に莫大な経費を要したこと、将来、老人医療・福祉経費が増嵩すること、団塊の世代の大量退職が生じるなどの要因を踏まえた上で、平成11年度から平成20年度までの10年間の「行財政構造改革推進方策」を策定して、しかも平成16年度から、「後期5カ年の取り組み」として見直しを行ったにもかかわらず、今日のような県の財政状況を招いております。議会としてもその反省をしっかりとした上で、今回の行財政改革が実効あるものにしていく必要があります。このような県政において大変重要な時期に、与党会派の幹事団の一員としてその任を与えられたことへの責任の重さを痛感しているところです。今回は先輩議員の県政レポートを参考にしながら、本県における「行財政構造改革」について記載いたしました。(内容的に少し難しいですが・・・) 今後ともよろしくご指導・ご鞭撻をおねがいいたします。

(尚、6月定例県議会の報告は次号(みるみる通信31号)にて掲載予定です。)

~行財政構造改革について~

I 県財政状況

- 1 標準財政規模(19年度は9,642億円)の3倍以上もの県債残高(借金3兆4,600億円)があり、その償還に充てるべく貯金をしておく県債管理基金も多額の積み立て不足となっている。
- 2 平成18年度より地方債が許可制から協議制に移行する中で、財政の健全化指標として県債管理基金の不足額も加味した実質公債費比率が設けられ、本県は北海道に次ぐ全国ワースト2位の19.6%と、相変わらず許可制(18%が協議制の基準)のみであり、県財政は危機的な状況(25%で早期健全化団体)にまでなっている。

II 財政悪化の主な原因

- 1 阪神・淡路大震災からの創造的復興に2兆3,000億円という巨額の財政負担を要した。そのため発行した県債発行額は1兆3,000億円、その内まだ8,500億円が残っており、県財政を圧迫している。

創造的復興を旗印に借金をして多くの社会資本が整備され、将来世代に負担を残した。これに対しては、過度な借金をしてまで創造的復興が必要であったのか、或いは身の丈に合った行政運営をしてこなかったのではないかという意見がある。同時に、県民の皆さんに元気と意欲を持っていただかなければいけない、また収入にあっただけの事業ではわずかに10年で復興はできなかったとも言える。そのため財政は相当に傷んだが、それは震災復興のためのコストと考えざるを得ない。

- 2 国の三位一体改革の影響により平成16年度から地方交付税が大きく削減され財政運営を圧迫している。

【地方交付税の推移】

(単位:億円)

平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
3,986	3,891	3,827	3,298	2,887	2,911(当初)



※ 地方交付税の制度と機能

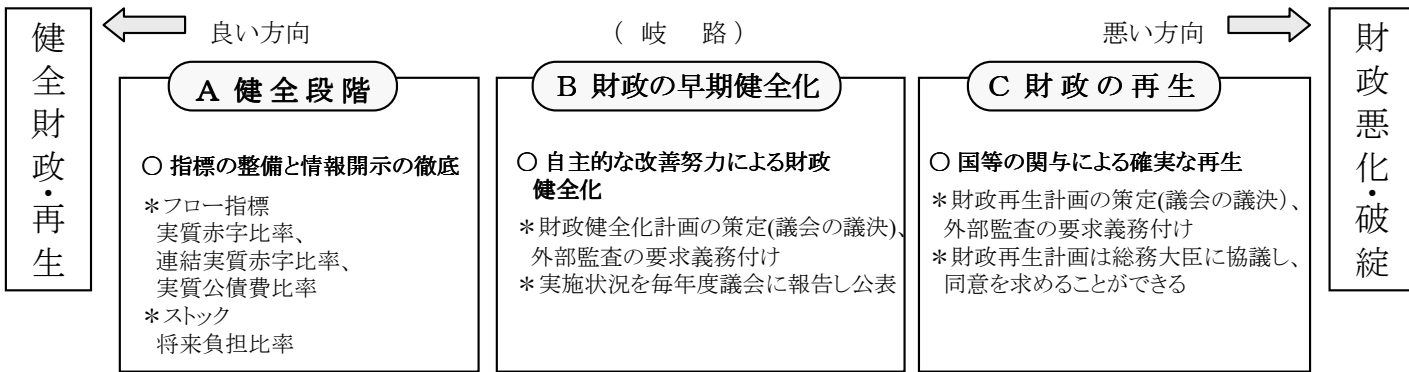
○ 財源の均一化(財政調整機能)

地方団体間における財政力の格差を解消するため、地方交付税の適正な配分を通じて地方団体相互間の過不足を調整し、均衡化を図る。

○ 財源の保障(財源保障機能)

地方交付税の総額が、国税5税の一定割合として法定されることにより、地方財源は総額として保障されている。(所得税・酒税の32%、法人税の34%、消費税の29.5%、たばこ税の25%)

III 地方財政健全化法制定により財政を住民の目線でチェック (平成19年6月22日公布)



1 財政健全化法制定の要因

- ① 平成18年6月、夕張市の財政破綻(夕張ショック)が明らかになった。
その反省として、各自治体が自らの財政状況を正しく把握しているのかを改めて問われるようになり、財政の透明性を高め、説明責任を果たすためにも、新しい判断基準が必要になった。
- ② 地方分権改革で平成18年度から実質公債費比率が18%以下の自治体は、国の許可がなくても起債(借金)ができるようになった。そのため、住民自らの判断基準が必要になった。

2 新しい4つの財政指標

- ① **実質赤字比率**
普通会計(一般会計及び企業会計的なものを除いた特別会計の総計)を対象とした実質赤字の標準財政規模(一般財源の規模)に対する比率
- ② **連結実質赤字比率**
公営事業まで含めた全会計を対象とした実質赤字又は資金不足額の標準財政規模に対する比率
- ③ **実質公債費比率**
公債費や準公債費(公営企業の公債費への繰出金、一部事務組合の公債費への負担金等)の標準財政規模に対する比率(自治体の借金の度合いを示すもの)
- ④ **将来負担比率**
普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合(公営企業、地方公社、第三セクター、出資法人等を含め、普通会計の将来負担を把握するための指標である。)

IV 議会の役割と責任は重い “改革はトップダウンとボトムアップで”

- ① 社会資本の整備は必要です。しかし、過度な借金(起債)をしてまで社会資本を整備することの正当性は、経済成長が今以上に期待できず、人口減少社会の局面を迎えたいま、なくなったと言える。従って、新しい理念(参画と協働)が必要である。
- ② 地方が主体となって、自己決定、自己責任が貫ける体制へ変わりつつある。つまり、国から地方へ分権改革が進んでいる。
- ③ 財政状況はもとより行政全般について、国がチェックするのではなく、納税者自らがチェックできるようになったことは、同時に住民(納税者)の代表である議会の役割と責任は重いものがある。

～ほっと一息。～

ブラジルへの最初の移民船「笠戸丸」が神戸港を出港して100年。4月28日には皇太子殿下をお迎えし、神戸で記念式典が厳かに行われました。当時、船で神戸港から希望と不安をもって25万人以上の方々が旅立ったことに改めて感慨深いものを感じました。

また、懇親会場では来日されたブラジルで活躍する日系3世、4世の方々とも親しく歓談の場を持ってました。



伊川谷で借りている市民農園(自称:みるみるファーム)ではいちご(50株)が収穫時期を迎え、また、玉ねぎ、ジャガイモ、三つ葉に絹さやなど昨年末から丹精こめて作ってきた野菜が日々収穫できるようになってきました。特に種から育て、畑に定植したときは糸のように細かった玉ねぎが大きく育っているのは本当にうれしいです。今、畑は夏野菜が植えられないほどいっぱいなので取りあえず、家のプランタンできゅうり、なす、ピーマンなどを育てています。



先日、4月に行われたアジア自転車競技選手権大会で個人種目別で優勝した男子大学生と女子高校生と一緒にその報告を兼ねて知事表敬しました。明石の自転車競技場で小学生の頃から練習に励み、大きな大会で優勝する選手が出てきたことは大変よこばしいことです。彼らに続く選手が育つようにしっかりと県内唯一の練習場所である明石の自転車競技場の環境整備にも注力していきたい。



プロフィール

石井 秀武 (いしい ひでたけ)
昭和41年4月15日生まれ B型 西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学卒、サラリーマン生活を経て、
阪神・淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書
平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗(16315票)
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選(23129票)
平成19年、再選(24881票)

現在 兵庫県議会議員(2期目) 兵庫県議会民主党・
県民連合議員団 副幹事長 産業労働常任委員会委員長
兵庫みどり公社 顧問 民主党兵庫県連常任幹事
民主党兵庫県第4区総支部 幹事長 兵庫民社常任幹事
兵庫県宅地建物取引業協会会員 明石市柔道協会理事
兵庫県自転車競技連盟顧問 社会福祉法人相談役 他

石井ひでたけ事務所

〒651-2133
神戸市西区枝吉1丁目215番地
E-mail: voice@ishiihidetake.net
TEL / 078-920-2200
FAX / 078-920-2211

県政のご相談・お問い合わせは
事務所まで。必ずご氏名・ご連絡
先をお知らせください。

どんでん
ご意見・ご要望を
お寄せ下さい。

